

令和 7 年 4 月 2 4 日

PPP/PFIの制度概要及び ふくしまPPP/PFI地域プラットフォームについて

福島県地域振興課

4/24(木)ふくしまPPP/PFI地域プラットフォーム 福島県 説明事項

1 PPP/PFIとは

2 福島県の実組み

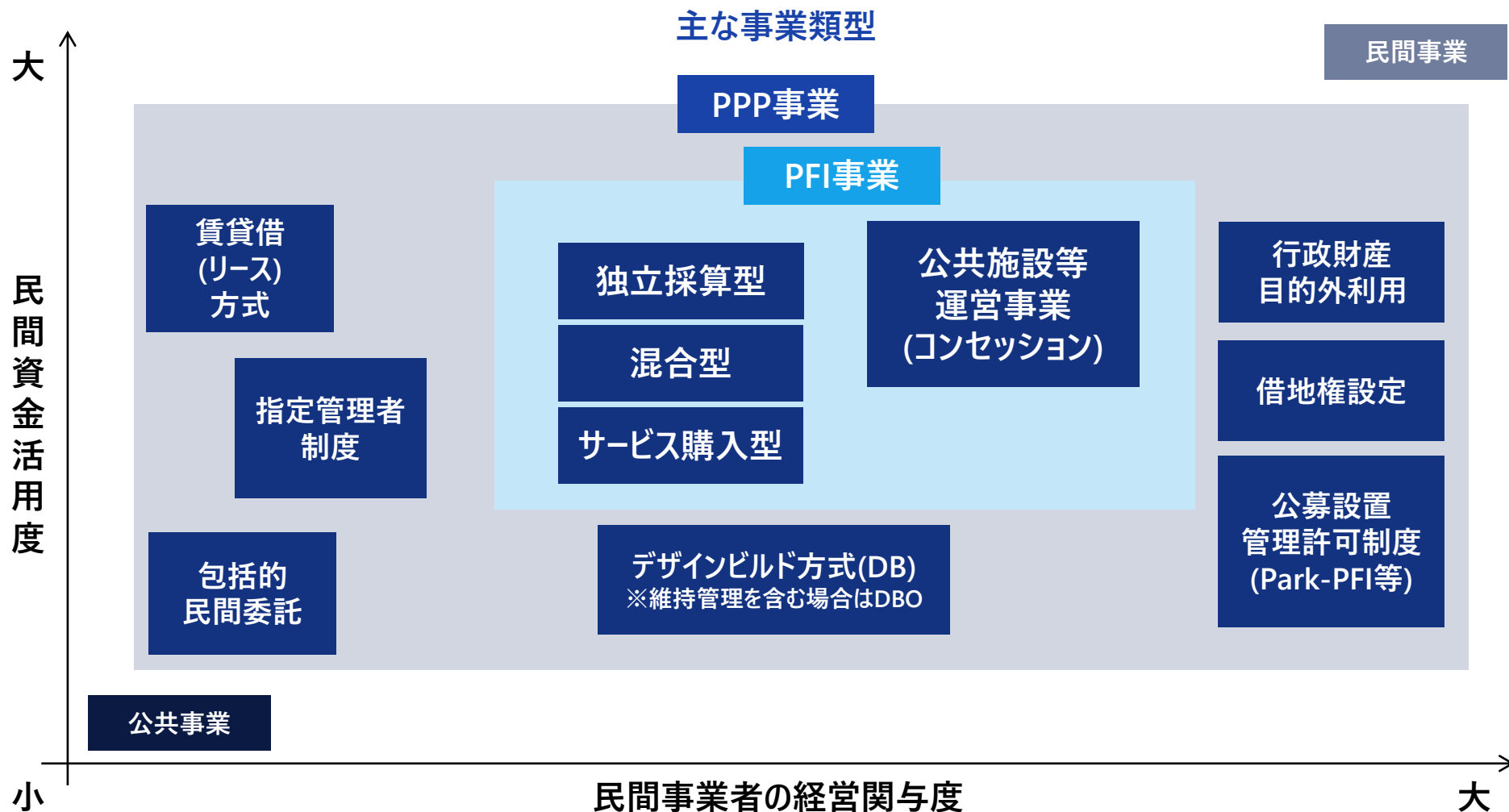
3 令和7年度の事業計画

1 PPP/PFIとは

人口減少社会の中で効率的に公共サービスを提供するため、
民間の資金や知見を取り入れるPPP/PFIを推進することが重要となります。

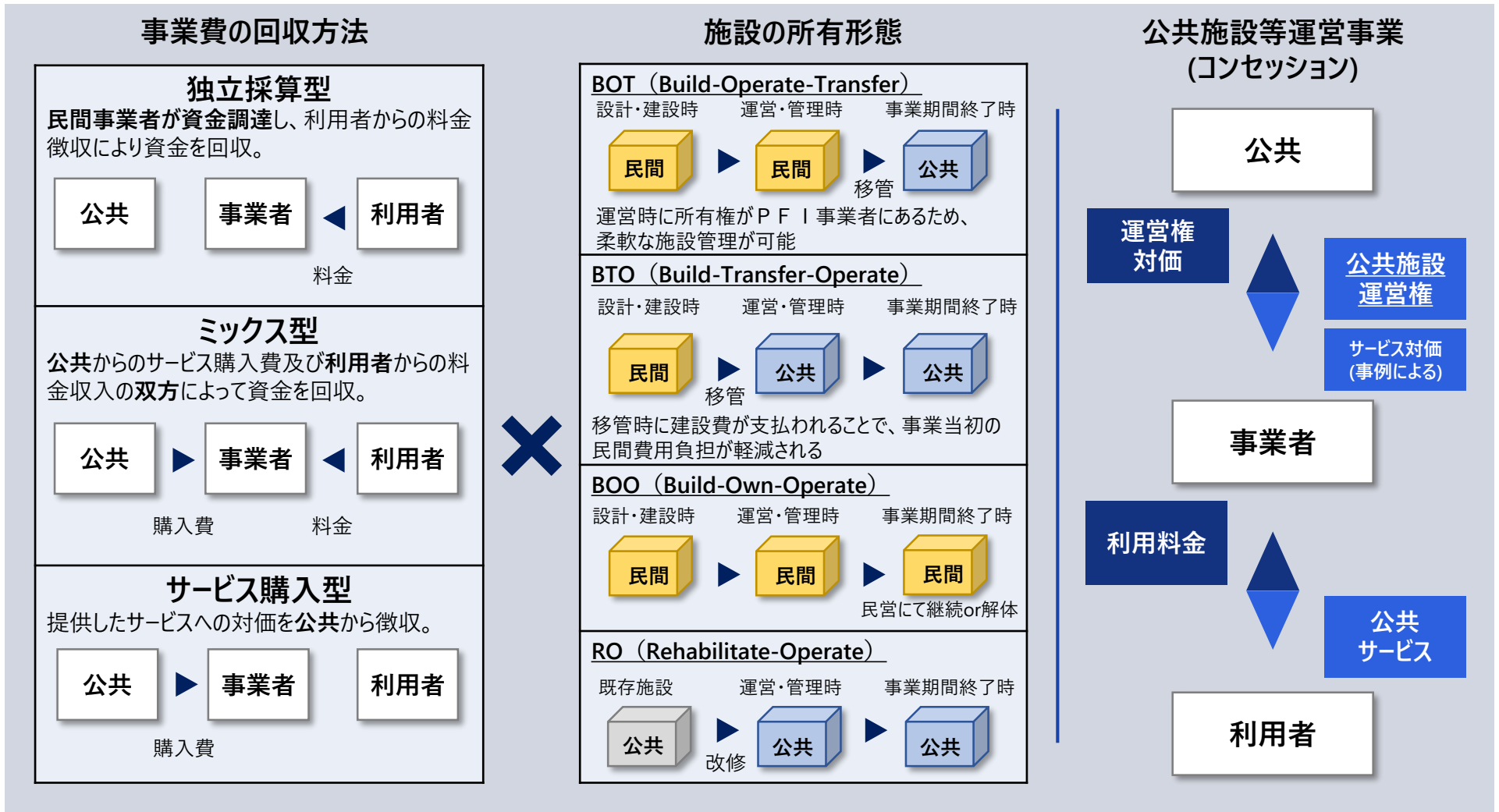
PPP (Public Private Partnership)

広義に、自治体と民間企業が連携し、互いの強みを活かしながら公共サービスを提供する事業のことを指す。



PFI(Private Finance Initiative)とは、PPP手法の 1 つであり、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営及び技術的能力を活用して行います。

主な事業分類



※「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」により事業の枠組みが設けられている。

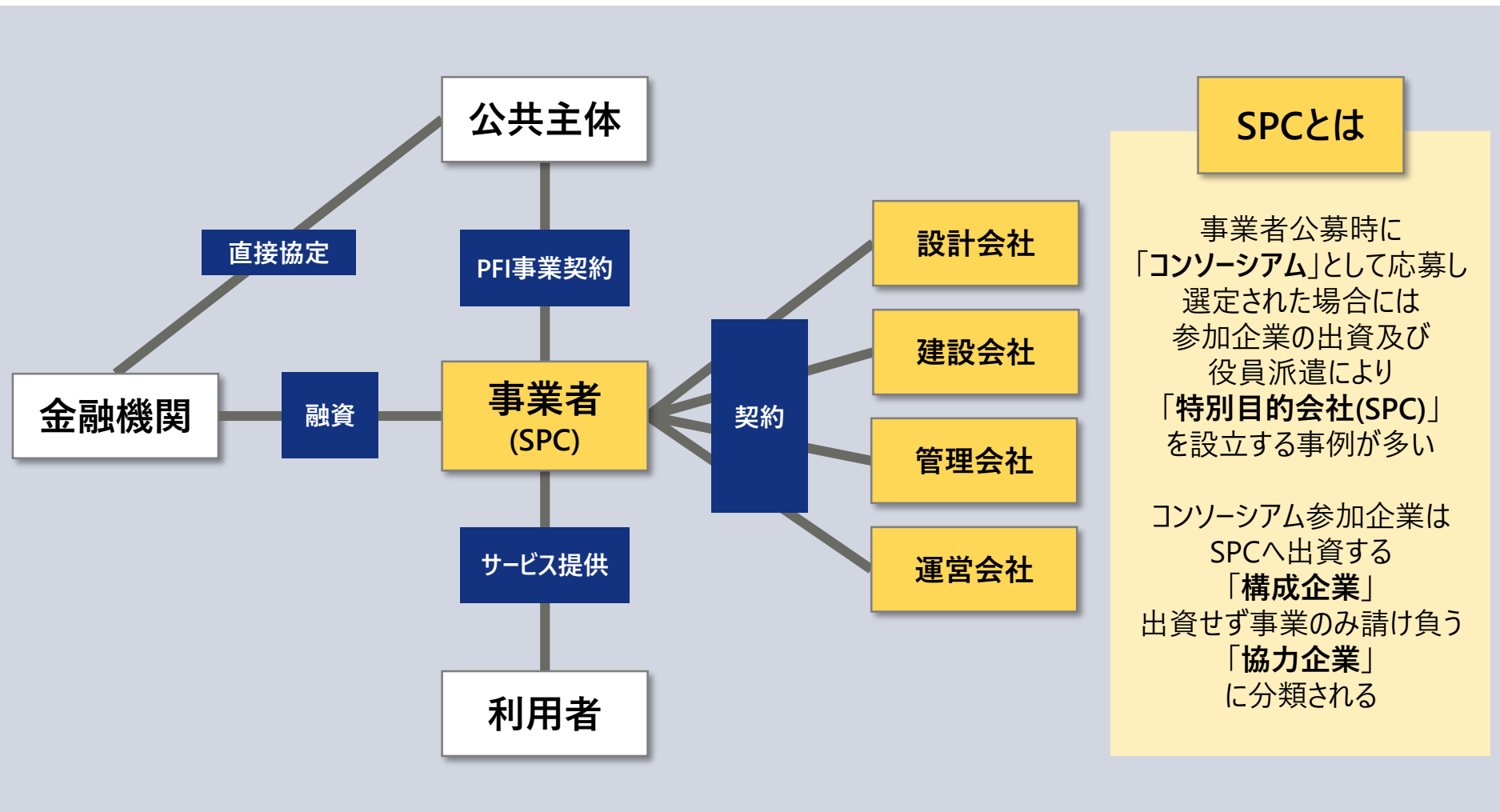
PFI事業には ① 性能発注 ② 一括発注 ③ 長期契約 3つの特徴が挙げられます。
 これらの特徴は、コストの削減や民間の提案余地拡大、サービスの質向上に繋がります。

従来方式とPFI事業の主な違い

	従来方式	PFI事業
発注	分割発注	一括発注 (設計、建設、維持管理・運営等)
	一社単独又はJVでの受注	コンソーシアムなどで参画し、 落札後にSPCを設立し発注
	単年度契約が基本	長期契約
	仕様発注	性能発注
事業者 選定	価格競争が基本	公募型プロポーザル 性能と価格の総合評価 審査委員会等による客観的評価
資金調達	発注者となる公共の事業予算	公共予算・民間資金
財政負担 算定方法	事業ごとの委託費用のみ	施設の管理や運営までに係る ライフサイクルコストを加味し算定

一括発注となるPFI事業では、多岐にわたる業務を遂行するために、多くの企業が協力体制を構築してサービスの提供を行います。

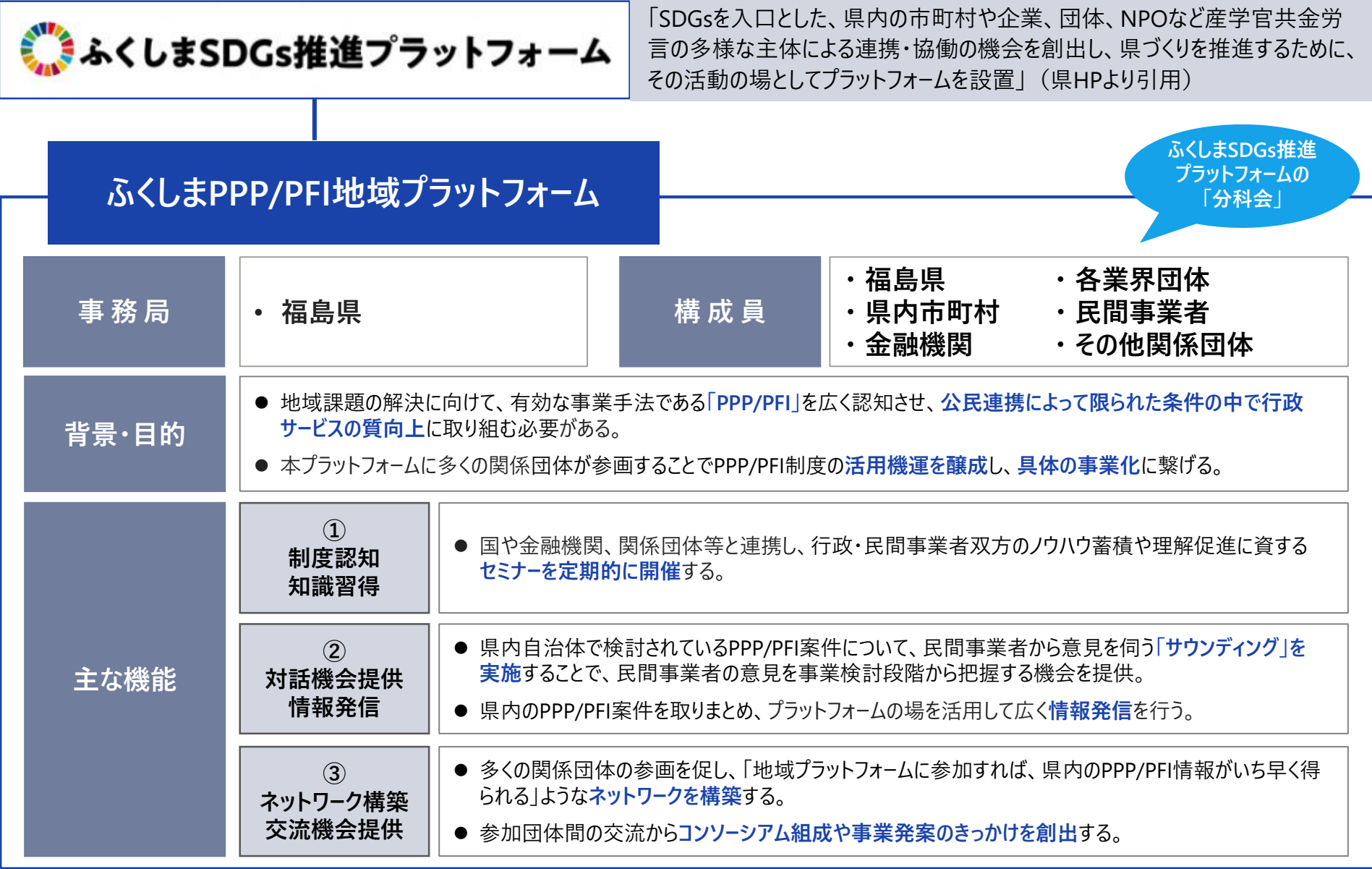
PFIの事業スキーム例



2

福島県の実施

県内全域でPPP/PFI事業を普及するため、「ふくしまPPP/PFI地域プラットフォーム」を立ち上げ、自治体と事業者をつなぐ役割を果たしていきます。



本プラットフォームが目指すゴールは「県内でPPP/PFIの事業化」を推進することです。
来年度以降は、以下のような取組みをプラットフォーム会員のニーズを踏まえて実施します。

取り組み①：公民連携手法を検討できるような環境づくり



セミナー・勉強会

官民各分野の講師を招待し、PPP/PFIの知識やノウハウを学ぶ機会をつくれます。



情報展開

国や関係団体から得られたPPP/PFIに関する情報を参加団体へ展開します。

既に事業の検討が進んでいる例については、具体の事業化につながるような場として地域プラットフォームを活用します。

取り組み②：事業化をサポートする場を提供



官民対話（サウンディング）

自治体が検討中の案件を周知し、民間から意見を伺う機会を設けます。



ネットワーキング

参加団体間で意見交換の場を設け、事業につながるネットワークを構築します。

令和6年12月10日付けで「ふくしまPPP/PFI地域プラットフォーム」を立ち上げ、 制度を推進していくために、以下の取り組みを実施してきました。

令和6年度の実績結果

	PPP/PFI勉強会 (令和6年10月25日開催)	第1回プラットフォーム (令和7年1月9日開催)	第2回プラットフォーム (令和7年2月19日開催)
趣 旨	➢ ふくしまPPP/PFI地域プラットフォームの設立周知 ➢ 関係者へのPPP/PFIの制度の理解醸成 ➢ 他県での地域プラットフォーム活用事例の紹介	➢ 県内のPPP/PFI案件の周知による民間事業者への参画意識向上 ➢ 市町村と連携したPF運営の実践 ➢ 具体的事例の紹介による制度理解・機運の醸成	➢ サウンディングに関する基礎事項の理解醸成 ➢ サウンディングによる官民の意見交換 ➢ 令和7年度以降の計画周知
実施内容	①県からの情報提供 ➢ 地域PFを設立する趣旨を説明 ②講演：内閣府 ➢ 国のPPP/PFI事業の動向 ➢ アクションプランの改正点 ➢ 補助事業の紹介 等 ③講演：他エリア地域PFの実例紹介 ➢ 金融機関参画の効果 ➢ 市町村参画の効果	①県からの情報提供 ➢ 県内のPPP/PFI取組状況について、調査結果を周知 ②市町村からの事業説明 ➢ サウンディング予定案件の説明 ③講演：官民の先進取組事例紹介 ➢ 他県の行政担当者より先進事例の紹介 ➢ 民間事業者よりPPP/PFI事業に携わった経験の紹介	①基調講演：有識者 ➢ 福島県でPPP/PFIが推進されることで期待される効果 ②情報提供：事務局・市町村 ➢ 次年度の取組計画を説明 ➢ 検討段階の案件を周知 ③サウンディング：参加者 ➢ 県内で検討されているPPP/PFI案件に関する、自治体と事業者の意見交換
参加者数 (現地+WEB) ※申込ベース	79名	128名	114名

3

令和 7 年度の事業計画

本説明会の実施後には、年間を通じてPPP/PFIに関するノウハウ蓄積のためのセミナーや具体的な案件形成につながるサウンディングを継続して開催します。

令和7年度の主要事業スケジュール

	セミナー①・サウンディング① (第2四半期開催予定)	セミナー② (第3四半期開催予定)	セミナー③・サウンディング② (第4四半期開催予定)
趣 旨	➤ PPP/PFIの知識・ノウハウの習得 ➤ 案件成立に向けた意見交換 ➤ 参加者間のネットワーク構築	➤ PPP/PFIの知識・ノウハウの習得 ➤ 官民対話に向けた情報提供 ➤ 参加者間のネットワーク構築	➤ PPP/PFIの知識・ノウハウの習得 ➤ 案件成立に向けた意見交換 ➤ 参加者間のネットワーク構築
実施内容	①情報提供：事務局 ➤ R7年度の事業計画・趣旨説明 ②講演：招待講師 ➤ これまでのアンケート結果を踏まえ、案件形成に向けたハードルの解消につながるテーマを選定 ③官民対話：希望団体 ➤ 自治体から案件を事前募集 ➤ 実施方式は参加自治体の希望を鑑みて決定 ④交流会：参加者 ➤ 参加者間の意見交換等	①講演：招待講師 ➤ プラットフォーム会員の希望やサウンディング予定案件への関連を踏まえてテーマを設定 ②情報提供：希望自治体 ➤ サウンディング②の実施に向けた案件の周知 ③交流会：参加者 ➤ 参加者間の意見交換等	①情報提供：事務局、希望自治体 ➤ R8年度の事業計画説明 ➤ サウンディング予定案件の周知 ②講演：招待講師 ➤ 案件の形成に向けて足りない要素を補えるようなテーマを設定 ③官民対話：希望団体 ➤ セミナー②で周知した案件のサウンディング ➤ 実施方式は参加自治体の希望を鑑みて決定 ④交流会：参加者 ➤ 参加者間の意見交換等

事業
概要

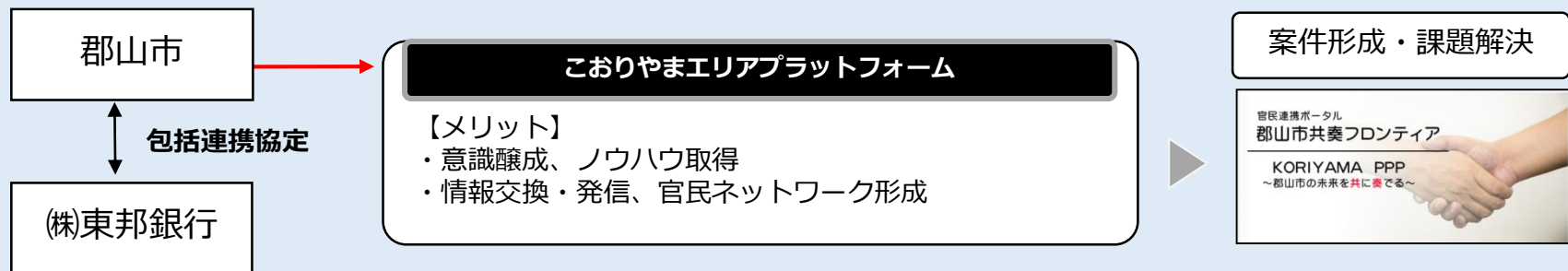
PPP／PFIの更なる推進を図るため、官民対話の場として「こおりやまエリアプラットフォーム」を構築し、PPP／PFIの具体的な案件形成を目指す。

目指す
効果

- ・ PPP／PFIの具体的な案件形成
- ・ サウンディングによる課題解決

◆こおりやまエリアプラットフォーム

株式会社東邦銀行との包括連携協定に基づき、平成29(2017)年度に構築
開催のテーマに合わせ、大手建設業者、地元企業、銀行、コンサルティング会社、地方公
共団体の職員 等 産官学の分野から参加



◆対象案件の具体例

- ・既存公共施設の改修等を検討しているもの(単独改修や集約化・複合化 など)
- ・公的不動産の有効活用(遊休地・廃校など)
- ・新規施設の整備
- ・その他PPPの活用検討(Park-PFIやデザインビルド方式 など)

過去の取組み・検討状況

▼【第1回】市営住宅（希望ヶ丘・日吉ヶ丘・仁池向・安積）＜平成30（2018）年1月＞

- ・「導入すべき付帯機能、団地全体の整備・維持管理手法、集約移転後の跡地利活用」について、ワークショップ形式で意見交換
→ 令和4年度に指定管理者を公募、令和5年度から指定管理者による管理運営を開始

▼【第2回】開成山公園 ＜平成30（2018）年12月＞

- ・Park-PFI（公募設置管理制度）の導入をテーマに「魅力、課題、市場性、Park-PFIで検討できること」について、ワークショップ形式で意見交換
→ 令和2年度「開成山公園Park-PFI導入支援業務」を実施、令和4年度に整備事業者等を公募、令和6年度供用開始

▼【第3回】けんしん郡山文化センター ＜令和2（2020）年2月＞

- ・「施設の稼働率を向上させる施策、最適なPPP/PFI手法」について、ワークショップ形式で意見交換
→ 令和3年度「郡山市文化施設の躯体・設備等調査及び民間活力（PPP/PFI）導入可能性調査業務」を実施

▼【第4回】郡山カルチャーパーク ＜令和2（2020）年8月～10月＞

- ・「施設のあり方、最適なPPP/PFI手法」についてウェブサイトを通じ意見募集、その後事業者と個別に意見交換
→ 令和3年度「郡山カルチャーパーク施設健全度調査及び民間活力（PPP/PFI）導入可能性調査業務」を実施

▼【第5回】（仮称）富田東中央公園 ＜令和4（2022）年10月～令和5（2023）年3月＞

- ・「公園の整備・管理手法」についてウェブサイトを通じ意見募集後、事業者と個別に意見交換し、整備方針検討中

▼【第6回】旧長沼高等学校跡地の利活用について ＜令和6（2024）年12月＞

- ・須賀川市と連携し、旧長沼高等学校跡地の利活用について、ワークショップ形式で意見交換をするとともに、ウェブサイトを通じ意見募集

■【PPP】情報発信事業者登録制度（官民共奏マッチング）

官民連携ポータル

郡山市共奏フロンティア

KORIYAMA PPP

～郡山市の未来を共に奏でる～

ウェブサイト



- ◎ 登録いただいた事業者の方には、本市のPPP/PFI情報を
公平かつ積極的に情報発信します！
- ◎ 事業者の希望により、一部情報を公表します。
コンソーシアム形成のきっかけとしてご活用ください。

※ 市から事業者の連絡先や担当者を教えることはありません。